

八王子市館清掃工場解体工事の進捗状況について 平成27年 10月・11月

既存施設のアスベスト調査を行いました

10月末から工事に着手し、まず既存施設内のアスベスト調査を実施しました。設計図書や現地目視による調査、及び試料の採取による分析の結果、アスベストは工場棟内部のボイラー煙突部に飛散性の保温材の使用が、また室内の内装材等に非飛散性の石綿含有建材が使用されていることが確認されました。確認されたアスベストは関連法令に従った行政届出の手続きを行い、その後適正な除去工事を実施します。



工事範囲に仮囲いを設置しました

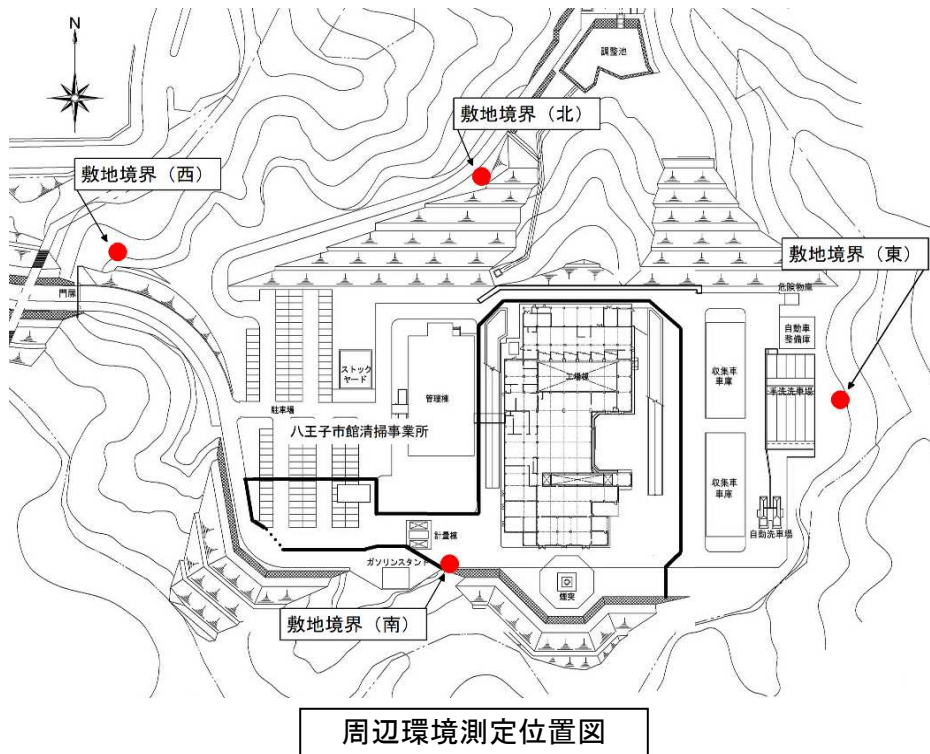
館清掃事業所の構内において解体工事を行うので、一般利用者の方々や収集車両の安全確保のために、工事範囲の周囲に仮囲いを設置しました。



八王子市館清掃工場解体工事の進捗状況について 平成27年 12月

解体工事施工前の周辺環境測定を行いました

敷地境界部の4箇所（東西南北）において、解体工事施工前の大気中のダイオキシン類濃度、粉じん量の測定を実施しました。



また同じく敷地境界部の4箇所に、工事中に周辺土壌へダイオキシン類が飛散したかどうかを調査するための標準土（汚染されていない購入土）を設置しました。



八王子市館清掃工場解体工事の進捗状況について 平成28年 1月

解体工事前の事前準備を行いました

解体時に発生する粉じん・騒音を軽減するために、必要な箇所に養生パネル、シート等
を設置して、解体工事を開始しました。



ダイオキシン類対策の仮設工事を行いました

工場棟の一部を先行して解体するために、排水処理設備室内のダイオキシン類除去作業を行います。これに先立って排水処理設備室内のダイオキシン類対策仮設工事を実施しました。

排水処理設備室内の密閉養生をおこない、ダイオキシン類除去作業時に室内の粉じん等が外部に漏れないようにしました。また床部分については、除去（洗浄）作業時の排水が外部に流出ないように防液堤を設置しました。



負圧集塵機を設置しました。ダイオキシン類除去作業時の室内の空気は、この集塵機のフィルターで完全に浄化して大気中に放出（※）します。また、室内を負圧状態（気圧が低い状態）にして室内の空気が外部に漏れ出すことを防ぎます。

※放出された空気の分析結果はホームページの「環境調査結果」に掲載しております。



クリーンルームを設置しました。クリーンルームとは、密閉養生された作業室内への出入り時に、汚染物質を外部に出さないようにするための部屋です。また作業用の保護具の装着室としても使用します。



クリーンルーム内にはエアシャワー室があり、作業室内から作業員が退出する際に、作業用保護具に付着した汚染物質を除去します。



八王子市館清掃工場解体工事の進捗状況について 平成28年 2月

排水処理設備室内の除染、解体作業を開始しました

排水処理設備室内のダイオキシン類除染作業をおこないました。除染作業はダイオキシン類管理区域内作業として保護具を装着して実施し、設備等に付着したダイオキシン類を高圧水による洗浄で除去しました。この洗浄で発生した汚染水は、密閉タンクに一時保管し、後日設置する仮設排水処理プラントで浄化処理をします。



除染作業前



除染作業後



除染が完了し、付着物の除去を確認した後、内部機器類の解体をおこないました。この解体作業もダイオキシン類管理区域内作業として保護具を装着して実施しました。



解体完了後に室内の内面洗浄、清掃を実施して管理区域を解除しました。この時の洗浄水についても前述の汚染水と同様に処理をします。

